



百合小だより

「明るく・なかよく・たくましく」

名張市立百合が丘小学校
令和4年9月16日発行

全国学力・学習状況調査結果の分析および今後の取組

本年4月19日に6年生を対象に実施されました「全国学力・学習状況調査」につきまして、本校児童の学力の定着状況、学習状況、生活習慣等の分析結果や今後の取組について、概要を報告させていただきます。

調査により測定できるのは学力の一部や教育活動の一側面ではありますが、課題解決に向けて教職員一丸となって取組を進めて参りますので、皆様のご支援・ご協力をよろしくお願いいたします。

1. 教科についての調査結果

本校6年生の平均正答率は、国語・算数で三重県の平均正答率以上であり、理科は若干下回っていました。

教科	結果から見られる主な傾向	
国語	強み	<ul style="list-style-type: none">話し言葉と書き言葉との違いを理解していること。文章全体の構成や書き表し方などに着目して、文章を整えること。学年別漢字配当表に示されている漢字を文の中で正しく使うこと。
	弱み	<ul style="list-style-type: none">互いの立場や意図を明確にしながら計画的に話し合い、自分の考えをまとめること。漢字や仮名の大きさ、配列に注意して書くこと。
算数	強み	<ul style="list-style-type: none">二つの数の最小公倍数を求めること。示された作図の手順を基に、図形を構成する要素に着目し、平行四辺形であることを判断できること。
	弱み	<ul style="list-style-type: none">百分率で表された割合と基準量から、比較量を求めること。表の意味を理解し、全体と部分の関係に着目して、ある項目に当たる数を求めること。
理科	強み	<ul style="list-style-type: none">メスシリンダーの器具を理解していること。予想が確かめられた場合に得られる結果を見通して、問題を解決するまでの道筋を構想し、自分の考えをもつこと。
	弱み	<ul style="list-style-type: none">日光は直進することを理解していること。問題に対するまとめを導き出すことができるように、実験の過程や得られた結果を適切に記録しているかどうかをみること。

2. 児童・学校質問紙調査の結果から

<よい傾向であると思われること（割合が高かった項目）>

- ・朝食を毎日食べている。
- ・難しいことでも、失敗を恐れなくて挑戦している。
- ・人の役に立つ人間になりたいと思う。
- ・人が困っているときは、進んで助けている。
- ・困りごとや不安がある時に、教師や学校にいる大人にいつでも相談できる。
- ・教師はあなたの良いところを認めている。
- ・ICT機器を他の友だちと意見を交換したり、調べたりするためによく使用している。

<課題であると思われること（割合が低かった項目）>

- ・自分と違う意見について考えるのは楽しいと思う。
- ・学校の授業時間以外に、1日当たり30分以上、読書をする。
- ・理科の勉強が好き。

3. 今後の主な取組

(1) さらに授業改善に取り組めます

- ・友だちに伝える活動において、まず、自分の立場を決めさせる。そして、なぜそう考えたのかを自分の経験などをもとに話をする活動を取り入れていく。また、条件に応じて、問題が意図していることに答えられる力を養う指導を行う。文字数を意識させた活動を取り入れる。例えば、振り返りを書くときに、文字数を制限したり、キーワードを入れてまとめさせたりする。
- ・漢字練習や文章を書く練習をするときに、マスや行の中心を意識させた指導を行う。
- ・物語文などで、登場人物の行動や気持ちなどについて、叙述を基に捉える読みをさせる。
- ・割合について授業で学んだ知識を生かした活用問題に取り組ませる。
- ・データを整理する観点に着目し、身の回りの事象について、表やグラフを用いて考察して、見出したことを表現する活動を行う。
- ・実験で得た結果について、自分の考えをもち、その内容を記述したり、説明したりできる力を養う。
- ・読書量を増やす取り組みを行う。

(2) 学習規律の確立を図ります

- ・引き続き、「百合が丘小学校 学びの六か条」をもとに、学習規律を学年に応じて指導し、主体的、対話的で深い学びの実践を進める。

(3) 家庭の協力を得て、学習習慣の定着を図ります

- ・児童自身に合った家庭、自主学習のパターンやスタイルを決めたり、効率の良い時間配分を決めたりするように指導、声かけをする。